

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和8年3月31日 (第1回)
目標年度	令和17年度
市町村名 (市町村コード)	安城市 23212
地域名 (地域内農業集落名)	三別農用地利用改善組合 (別郷、東別所、西別所)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	27.6 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	26.5 ha
② 田の面積	24.9 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	1.9 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

担い手農家が作業しやすく収量が増加でき、農業所得の維持・拡大ができるように担い手農家の要望に沿った集積ができるか、地域と行政が担い手農家に寄り添っていけるかが課題。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

現状は稲作・麦・大豆である。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手農家を中心に集積は進んでいる地域です。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	84.5	%	将来の目標とする集積率
			84.2 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
現在個人で耕作している農家が、耕作できなくなったときにスムーズに利用権設定できるようにする。(集積を考慮する。)			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
農地中間管理事業(利用権設定)を通じて進める。
(2)農地中間管理機構の活用方法
現在の利用権設定は農地中間管理機構になっている。円滑化事業→農地中間管理事業へのスムーズな引継ぎ。
(3)基盤整備事業への取組
市・県・明治用水等の行政に要望することで、良好な営農条件を備えたものに整備する。農道や農業用排水路を整備することによって生産性の良い農地をつくり上げていく。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
市・町及びJAと連携し取り組んでいく。現在は大丈夫だが10年後の担い手後継者の確保。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
現在の担い手農家で十分対応できている。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

--

